

(別 紙)

令和4年度 動物愛護管理功労者大臣表彰の受賞者

受賞者	<p>クスハラ セイジ 楠原 征治 (80歳) 新潟県在住</p> <p>前(公社)新潟県獣医師会会長理事</p>
功績概要	<p>○昭和45年の新潟大学勤務時より動物愛護について関心があり、大学では現在のアニマルウェルフェアにつながる動物の環境管理学の研究・指導に尽力。</p> <p>○東日本大震災に際して、発生後に設置された新潟県動物救済本部の副本部長として被災動物飼育者への総合支援、支援活動の計画・調整等に尽力。</p> <p>○動物愛護精神及び人間と動物の絆を守る観点から、『新潟県獣医師会東日本大震災避難者同伴動物救護対策本部』を設置し、副本部長として獣医医療支援活動事業を統括。</p>

受賞者	<p>オオバヤシ キョユキ 大林 清幸 (72歳) 福岡県在住</p> <p>前(社団)北九州市獣医師会副会長 (公社)日本獣医師会理事</p>
功績概要	<p>○昭和50年3月に市内に動物病院を開業以来、小動物臨床獣医師として犬・猫の適正飼育の啓発・普及に努めてきた。</p> <p>○北九州市獣医師会で14年間、副会長として、動物愛護デーの他、捨て犬・捨て猫防止キャンペーンなど、北九州市獣医師会が行う動物の適正飼育の啓発・普及活動を推進。</p> <p>○日本獣医師会の小動物臨床職域理事・小動物臨床部会長として、犬・猫のマイクロチップ装着事業を推進。</p>